

平成31年 1月31日
東北地方整備局

入札監視委員会の審議概要について (第二部会第3回定例会議)

東北地方整備局入札監視委員会の平成30年度第二部会第3回定例会議が、平成30年12月25日(火)に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要(別紙)についてお知らせします。

なお、第二部会第3回定例会議では、委員会が抽出した案件6件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

(第二部会) 仙台市青葉区本町3丁目3番1号

TEL (022) 716-0013(ダイヤル)

契約管理官

大野千昭(内線6221)

経理調達課課長補佐

米谷優(内線6554)

東北地方整備局 入札監視委員会（第二部会）審議概要

開催日及び場所	平成30年12月25日（火） 東北地方整備局 会議室		
委員	部会長 是川 晴彦 【(国) 山形大学 人文社会科学部 教授】 部会長代理 我妻 崇 【弁護士】 委員 小出 英夫 【(学) 東北工業大学 工学部 教授】		
審議対象期間	平成30年 7月 1日 ～ 平成30年 9月30日 (上記期間に契約締結した案件を審議)		
審議案件	総件数 6件 (別紙—1 審議案件一覧のとおり)		
工 事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	0件	(備考) ・審議に先立ち、 (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告が行われました。
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	3件	
	工事希望型競争入札	0件	
	指名競争入札	0件	
	随意契約	0件	
	建設コンサルタント業務等	2件	
役務の提供等及び物品の製造等	1件		
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答	別紙—2のとおり		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はありません。		

審 議 案 件 一 覧

【工事】

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契 約 締結日	契約の相手方	契 金 約 額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	八戸港八太郎・河原木地区航路泊地(埋没)付帯施設本体工事(その3)	港湾土木工事	1者	1者	H30.8.6	鳥山・高田経常建設共同企業体	194,724	98.02	八戸港湾・空港整備
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	久慈港湾口地区防波堤消波工事	港湾土木工事	4者	4者	H30.7.11	(株)岩瀬張建設	261,360	93.81	釜石港湾
一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）	相馬港本港地区防波堤(沖)消波工事	港湾土木工事	1者	1者	H30.7.13	日起建設(株)	64,800	99.01	小名浜港湾

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業 務 名	業務区分	手続きへの参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契 約 締結日	契約の相手方	契 金 約 額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
簡易公募型競争入札方式	八戸港環境調査	測量・調査	3者	3者	H30.9.4	日本工営(株)	18,360	92.21	八戸港湾・空港整備

入札方式	業 務 名	業務区分	手続きへの参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契 約 締結日	契約の相手方	契 金 約 額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
簡易公募型ポータル方式	相馬港港内静穏度対策検討業務	建設コンサルタント等	9者	5者	H30.9.6	日本海洋コンサルタント(株)	15,120	98.71	小名浜港湾

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業 務 名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契 約 締結日	契約の相手方	契 金 約 額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備 考
一般競争入札方式	青森港波浪観測装置取替修理	役務の提供等	1者	1者	H30.9.11	(株)ソニック	38,232	98.37	青森港湾

1. 報告	
意見・質問	説明・回答
意見・質問なし	

2. 審議	
意見・質問	説明・回答

1 八戸港八太郎・河原木地区航路泊地(埋没)付帯施設本体工事(その3)	
<ul style="list-style-type: none"> ・落札率が高いが、どのような理由が考えられるか？ ・その理由だとすれば、予定価格を超えなかったのは偶然なのか？ ・金額が高いので、業者にとってはよい案件と思われるが、参加者が1者になった原因はわかるのか？ ・今後もこのケーソンヤードを使って工事をするようになるのだから、今後も参加者が少ないということが予想されるのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・施工場所が六ヶ所村であることから、作業員の確保や資材等の調達が非常に難しい場所であります。また、冬期で気象条件の悪い場所であり、間接費のアップ等が懸念され、落札率が高くなったものと考えています。 ・昨年のケーソン製作工事で、型枠の調達が難しいということの不調になった案件がありました。その後は見積活用方式を採用しており、予定価格は従来よりも実態を反映した価格となっています。 ・入札説明書をダウンロードした者は4者でした。そのうち2者は地元六ヶ所村ですが、残り2者は八戸市と十和田市です。八戸市から六ヶ所村までは50キロ以上、十和田市からは40キロ以上離れています。この地区は冬期風雪が厳しいところであり、通勤が大変な場所です。そういった観点から、参加者が少なかったものと考えています。 ・今後は、もっと発注規模を大きくする、又は夏場に発注するなど、発注方法の見直しをしていきたいと考えています。

2 久慈港湾口地区防波堤消波工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・4者の入札価格に近いが、その理由はわかるのか？ ・重量型のブロックは、久慈港では何回も発注しているのか？ ・参加可能者が28者もいるのに、4者しか参加してこない理由はわかるのか？ ・金額が一番低い者は取れなかった。この者は他者より点数が低い、内訳をみると実績で差がついている。実績がないと取るのも難しいのか？ ・八戸港の案件と評価タイプが違うがなぜか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロックの製作工事で比較的単純な工事であることから、積算も簡単であり、近い金額になったものと思われます。 ・久慈港では何回か発注していることから、近い金額になったと思われます。 ・場所が久慈港という岩手県の北部に位置しています。岩手県内には28者がいますが、久慈港近辺には数社しかいません。 ・求める同種工事の実績は、より同種性が高い工事は点数が高くなります。実績の内容により加算点に差が出てきます。 ・評価タイプは、難易度と金額により決まってきます。

3 相馬港本港地区防波堤(沖)消波工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・説明書をダウンロードした者は何者いたのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダウンロードした者は2者のみでした。参加しなかった1者にヒアリングしたところ、その区域に営業所を持っておら

<ul style="list-style-type: none"> ・応募者が少ない理由はわかるのか？ ・入札金額が予定価格に近いが、その理由はわかるのか？ ・積算もしやすい工事なのか？ ・先ほどの久慈港の場合はB等級で発注している。同じブロック製作なのに、こちらはB等級とC等級なのはなぜか？ ・B等級とC等級では、総合評価の点数が違ってくるのか。 	<p>ず、作業員の確保も難しいことから敬遠した、との事でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島県は、いまだ地元中小企業が震災復興にかかわっており、まだまだ多忙であります。その影響もあって、少なかつたと考えています。 ・除染作業や震災復興工事の影響もあり、他県から作業員を確保して工事を行っています。そういった調達リスクが入札価格に反映されたと考えています。 ・ブロックの製作工事であり、積算はしやすいと考えています。 ・発注規模からC等級となりますが、参加可能者が少ないことから、B等級まで広げています。 ・B等級もC等級も評価方法は同じです。
---	--

4 八戸港環境調査

<ul style="list-style-type: none"> ・2者が調査基準価格を下回っているが、どの部分が低かったのか？ ・調査基準価格を下回った時点でアウトなのか？ ・もし書類を提出したら、2回目の入札に参加できるのか？ ・今まで書類が提出されたことはあるのか？ ・優良表彰の基準はどうなっているのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務は工事のように内訳書を求めていますので、内容についてはわかりません。 ・調査基準価格を下回った場合、履行確実性の審査のために書類の提出を求めます。その書類の提出を辞退した場合、入札は無効となります。 ・予定価格を下回っているため、書類の審査をしての契約となりますので、2回目は行いません。 ・ないと思います。 ・局長表彰は、管内全体の概ね2%が対象となり、成績評価点の高い順となります。
---	--

5 相馬港港内静穏度対策検討業務

<ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザル方式だから落札率が高いのは仕方がないが、できるだけ金額を安くすることはしないのか？ ・技術提案を提出した5者からこの者に決めたのは、何か注目すべき提案があったからか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・この業務は、技術的に高度かつ専門的な知識を有することから、プロポーザル方式で発注しており、適正価格でと考えています。 ・特定テーマに対する提案が、他者より具体的な提案だったことが大きく、点数が高かったものです。
---	---

6 青森港波浪観測装置取替修理

<ul style="list-style-type: none"> ・1者応札であるが、考えられる理由は何か？ ・互換性の問題か？ ・このメーカー製は、全国で占める割合はどれくらいか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・この業務は、既存の海象観測装置の取替修理であり、メーカーが本業務の受注者の物となっています。今回は、陸上局との互換性の確保が必要ですが、他者が製作した海象計は互換性がありません。また、機材価格が直接工事費の9割くらいであることから、他に参加する者がいなかったものと考えます。 ・ナウファスは、港湾技術研究所とこのメーカーが共同で開発したものであることから、このメーカーの製品を使っています。 ・ナウファスのネットワークでは100%です。それ以外は、別メーカーの可能性がありますが、割合はわかりません。
--	---

・前回のGPS波浪計は工事で発注していたが、今回はなぜ役務で発注しているのか？

・参加可能な8者の内訳は？

・このメーカーしかないということは、参加しようとするなら、みんなこのメーカーに問い合わせをするのか。公平とは言えないが、それは仕方がないことなのか。

・このメーカー製と記載されているのですか？

・前回のGPS波浪計は、機材価格が直接工事費の半分以上でありました。製品も重要ですが、それを設置する工事も重要です。GPS波浪計の設置場所は、外海での非常に厳しい施工条件であることから、工事で発注しました。今回は、陸奥湾という穏やかな湾の中であることから、役務で発注しました。状況によって発注方法も変わってきます。

・建設業者もいれば、販売・修理する会社もあります。

・過去の同種工事では、当該メーカーの機器を他者が調達して取替修理をした事例もあり、競争性は確保されていると考えています。

・仕様書にはメーカー名は記載はされていませんが、記載されている性能を見ればわかると思います。